

さんまのつぶやき



目黒さんぽ

「清水池公園と立会川緑道」



目黒駅から01番系統大岡山小学校行きのバスに10分乗車し、清水公園入口バス停で下車すると、目の前に清水池公園があります。清水池公園は、周囲が宅地化する中、清水池の永久保存を条件に周辺の土地と共に昭和7年10月に当時の東京市に寄贈され、同年12月に公園として開園したのが始まりです。その後、都立公園の時代を経て昭和25年9月に目黒区に移管され、昭和27年9月に釣り堀が整備されました。この公園は大きく二つの区域に分かれています。一方の区域は広場の中に子供向けの遊具が置かれた広場、もう一方は三つの噴水が印象的な池がある区域です。広場のある区域では、朝から太極拳をしているお年寄り、野球の素振りをする子供、サッカーのドリブル練習をする親子がいます。午後になると、こども広場という遊具のあるスペースはこども園、幼稚園や小学校帰りの親子でにぎわいます。

もう一方の池のある区域では、朝早くから釣りをする人が集まり始めます。夏は午前6時から午後6時まで、冬は午前7時から午後5時まで釣りをすることができます。ここでは無料で釣りを楽しめます。池の周りには池の方を向いたベン



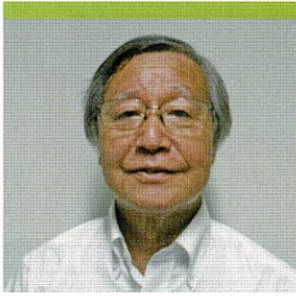
チが何基も設置され、そこに釣りをする人々が陣取っています。パラソルを立てて、日差しや風雨から身を守りながら何時間も池に糸を垂れている人もいます。ここで人々が釣っているのはヘラブナです。魚は釣ってすぐ放すキャッチアンドリリースが基本となっています。ただ、いつも釣りをしている人があるので、リリースすることになっているにしても魚がなぜいつもいるのかと疑問に思っていました。園内の掲示物から直近では令和3年12月12日に339キログラムのヘラブナが放流されていることがわかりました。多くの人が釣りを楽しめるようにきちんと維持管理されているのです。毎週月曜日は釣りができない日になっています。いつもは釣り人でいっぱいのベンチにも空きがあり、コーヒーを飲む老夫婦、図書館で借りた本を読む人、静かに散歩する人など思い思いに噴水のある水面を眺めながらくつろいでいました。天気の良い日には公園の一角に、三面ぐらいの将棋盤を置いて将棋に興じている人々がいます。様々な年齢層の人が、多様な目的でこの公園に集いそれぞれに楽しんで帰っていきます。

さて、この公園にある清水池の水は、自然の湧水でできています。そして、清水池は江戸時代には近くの碑文谷公園の碑文谷池と共に水田灌漑用のため池として利用されていました。では、この二つの池の水はどこへ行くのでしょうか。清水池公園の南側、少し離れたところに立会川緑道というのがあります。碑文谷八幡宮前から向原小学校を経て東急目黒線西小山駅前まで続く緑道です。川と書いてありますが、川はどこにも見当たりません。

昭和39年に、立会川にふたがかけられ暗渠（あんきょ）となり、その上が緑道となっています。池の水は立会川緑道の下を流れ、品川区を貫流し、京浜急行線立会川駅の先で最後は開渠になって東京湾の勝島運河に注いでいます。現在、この緑道には桜並木があり、春はそぞろ歩きをしながらお花見をするのによい場所です。皆様も、暖かい春の日差しに誘われて、清水池公園周辺をお散歩してはいかがでしょうか。（木佐木 慶子）

contents

- 1 目黒さんぽ
「清水池公園と立会川緑道」
- 2 支部長あいさつ
令和3年度
広報月間無料相談会について
- 3 三支部合同研修会に参加して
講演
「事例からみる商工業による
地域活性化と行政書士のサポート」
について
- 4 法教育支部推進委員連絡会議に
参加して
- 5 法教育授業実施状況
- 6 目黒支部の法教育について一言
「さんまのつぶやき」によせて
- 7 政連目黒支部活動報告
ようこそ目黒支部へ！ 新人紹介
支部会員の異動
- 8 目黒支部の動き
行政書士無料相談
政治連盟目黒支部の活動
編集後記



支部長あいさつ

目黒支部支部長
野田 明人

目黒支部支部長に就任してちょうど1年が経過しようとしています。これまで無事役割を務めてこられたのも、会員の皆様のご協力によるものと感謝している次第です。

支部長に就任してみて、自分としてはこれまで見えなかったものが見えたり、気が付かなかった事に気が付いたり、ということが多々あり、わずかではあります。ほかの役員の方々といろいろな事象を皆さんの前に明らかにしたり、改善したりということをしてきたつもりです。

これから取り組みたいテーマの一つに東京会が進める「法教育」があります。私としては、この取り組みは小学校、中学校の子供たちの授業などに参加して、日常生活の中で法の大切さを伝え「法の支配」の概念を理解してもらい、主権者意識や人権感覚を養ってもらおうというものだと考えています。その中で法を取り扱う行政書士という職業をアピールし、将来目を向けてもらう礎になるものと思います。

我々行政書士としてどう取り組むのか、教育現場との関係をどう作るのか、教える我々の自覚とスキルの向上をどう図るのか。難しい面はあります。また金銭面ではあまり期待できるとは思えませんが、役割の大きさを考えると、意義は大きく、それなりの覚悟は必要だと思います。

もう一つのテーマとしては昨年目黒区と結んだ「災害時における被災者支援に関する協定」をどう肉付けし、いざというときに役に立つものにするかということです。目黒区はまだ災害が少ない恵まれた場所にあるとは思いますが、それでも災害は必ずやってきます。今のままでは目黒区と協定を結んだという事実ではありますが、「罹災証明書」一つとってもそれを書ける人は少ないと思います。目黒区と連携しながら協定をどう生かし、我々が地域の人たちにどう役立てるのか考え、学んでゆくこと、他の機関との調整を図ること等々が必要ですが、それらの膨大な作業を考えると目がくらむ思いがします。

地域社会の中でどう社会貢献を果たし、行政書士の地位向上に役立ててゆくか、他にもいろいろな取り組むべきテーマがあり、会員の皆様も各々がそれぞれの持ち場で奮闘しておられると思います。私としては上記の二つを何とか取り組めないものかと考えています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

令和3年度広報月間無料相談会について

市民相談部長 中島 貴史

多くの方々に行政書士について知っていただくための「行政書士制度広報月間」の一環として、毎年目黒区役所にて無料相談会を開催しておりましたが、本年は7月12日よりいわゆる新型コロナウィルスについての緊急事態宣言がなされ、目黒区からも開催には慎重な姿勢を求められたこともあり、その開催は大変不透明な状態となりました（実際、いくつかの支部では中止の判断をされたところもありました）。しかし、予定どおりに緊急事態宣言が明け、改めて目黒区役所に開催の打診を行ったところ「感染対策を充分に行うこと」を条

件に、例年どおりの無料相談会開催に至りました。

開催の告知が紙媒体では間に合わずWEBサイトのみとなったなど、例年とは大きく異なったため、ご来場者は少なかったのですが、1件1件のご相談内容が大変複雑なものばかりで、少しでも区民の方々のお悩み解決に貢献できたのであれば開催した意義があったのかなと思うところであります。

来年度の無料相談会がどの様なものになるのかは、今の時点では不透明ではありますが、少しでも区民の皆様の為になるものが開催できればと考えております。



令和3年11月8日、大井町きゅりあんで「ポストコロナを戦う企業に行政書士が今できる支援」をテーマに、目黒、品川、大田三支部合同研修会が開催されました。講師は大槻美菜先生です。①購買物流・製造・出荷物流・販売・マーケティング・サービスの流れで強弱に迫る「VC分析」、②組織としての構造資産・人的資産・



外部との関係資産につき抽出する「MERITUM分析」、③製品・サービス→技術・ノウハウ→マネジメント→経営理念・方針と遡及して分析する「セグメント分析」、④政治的・経済的・社会的・技術的要因から迫る「機会・脅威PEST分析」、⑤ミクロの視点からの「機会・脅威5フォース分析」、⑥強み・弱み、機会・脅威を掛け合わせ抽出する「クロスSWOT分析」を通して、総合的支援の手法を学びました。感性を大切に、気づきで意識や言動が変わり、ビジョンを大いに語り、成功のストーリーを紡いでゆく夢と希望に満ちた技術に、活力が湧きました。目黒支部の先生が一番活発に発言なされ、コロナ禍

でも一体感を生み出し、盛り上げて最高の会になされる気概に大変勇気を賜りました。

先人の英知、努力の結晶である分析の技法や法律は、相手を攻撃する武器ではなく、皆が幸せになるための切り札です。事象を多角的に捉え、人様の欠点ではなく長所を見つけ切磋琢磨し称え敬い合い進化し、永続的強固な信頼関係を築き上げる最高の技術を学びました。人様のために奔走する行政書士の素晴らしさと重責に身の引き締まる思いです。先生方がご尽力くださるからこそ最先端、最高峰の情報を学べ、安心して業務に邁進でき、充実した日々を過ごせることに心より深謝致します。

講演「事例からみる商工業による地域活性化と行政書士のサポート」について

広報部員 竹松 千明・茂田 陽子

令和3年12月11日、第58回目黒区商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル2021」にて、川上正隆会員が講演を行いました。夏の恒例行事であった目黒リバーサイドフェスティバルは、コロナ禍の影響により令和2年は中止を余儀なくされましたが、令和3年は初の試みとなる目黒区民センターとオンラインの併用イベントとして無事12月に開催されました。

川上会員は、「事例からみる商工業による地域活性化と行政書士のサポート」というテーマで、地域活性化に成功した全国各地の事例と、各事例に対し行政書士ができるサポートについて話されました。具体的には、外国人の採用・雇用による助成金の利用から、高齢者を対象とした商店街のサービス、障がい者支援施

設の運営するインターネットショッピングモール、また地域ぐるみで子どもの安全を守る活動などが紹介されました。

例えば、「高齢者を対象とした商店街のサービス」とは、品川区中延商店街が「NPO法人 街のお助け隊コンシェルジュ」を設立し、有償ボランティアシステムにより高齢者の困り事を解決。また、「障がい者支援施設の運営するショッピングモール」とは、大阪市内の複数の障がい者支援施設が個々に運営するネットショップを集めたショッピングモール「大阪ハートフル商店街」を立ち上げ、手作りのスイーツや木工製品、陶器、縫製品等を販売しています。商工業による様々な地域活性化の方法とともに、行政書士が貢献できることの幅広さを改めて認識できる、大変有

意義な内容でした。

高齢化による人材不足など、今後地域の課題はより増えてくると考えられます。こういった課題に対する、「本当にそれは課題なのか。ビジネスチャンスにできないのか。」という川上会員の言葉はとても印象的でした。各地の成功事例を参考に、我々行政書士も街の法律家として積極的に地域活性化に関与していきたいものです。



令和4年1月25日(火)、オンライン利用のハイブリット方式で、東京都行政書士会法教育推進委員会主催の連絡会議に参加しました。目黒支部には法教育推進委員会が設置されておらず、総務部から目黒支部を代表して出席する予定でしたが、私は関心を寄せていたため、総務部にお願いし代わらせて頂きました。

東京会の法教育推進委員会議の参加は初めてであり、構成員とはほとんど初対面です。出席する目黒支部の代表として私が特に感じたこと、会員の皆さまにも特にお伝えしたいことは二つです。

- 1 行政書士による地域に根差した法教育推進活動は平成24年に発足し、すでに10年の実績があります。
- 2 コロナ禍の中でも直近のデータとしては、13以上の支部がそれぞれ地域での教育活動を展開しています。目黒支部に隣接する品川支部、港支部、渋谷支部、大田支部などは活発です。

士業の視点は一旦さておき、双子の娘を育てる母親として、私自身の体験や考えを少し話したいと思います。

ケース 1

小学校低学年生が上級生から物々交換しないかと言われ、嫌でも断れなかったできごと。

ケース 2

PTA が展開する資源ごみ集めのボランティア活動の実質強要、子供の頭数でポイント制ノルマを強要することに違和感を覚えたこと。

ケース 3

教室内で不意に転倒し同級生の部活道具を損壊した場合、問答無用に転倒した子の保護者が損害賠償することと判断した現場のこと。

ケース 4

今ニュースでも流れ、恐らく皆さんが耳にしたことのある中国での人身売買婚、26年間監禁事件の露呈から考えるジェンダー問題、格差問題、法の問題など。

このように、自分の身の周りにも皆でよく話し合うべきこと、子供たちに教える必要のあることがたくさんあるということに気がきました。私を知る限り、地域の公立学校ではまだ法教育の授業はありません。教員たちも皆が法学出身ではありません。我々士業者が、自分たちの暮らす地域のため、自分たちの次世代のため、法教育推進の活動を行うことは有意義なことではないでしょうか。



法教育授業実施状況

資料提供 東京都行政書士会 法教育推進特別委員会

《令和2年度 法教育授業実施状況》

東京都行政書士会 法教育推進特別委員会

令和3年3月作成

【支部での実施】

	支部	実施年月	対象	テーマ(授業内容)等
1	港支部	令和2年9月実施	小学校	キャリアパスポートデー出前授業
		令和3年3月	中学校3年生2クラス	買い物と法律
2	新宿支部	令和3年3月実施	小学校5年生2クラス	
3	墨田支部	令和2年12月実施	中学校1・2年生	小・中学生へのハローワーク「大人ってなんだろう？」
4	品川支部	令和2年12月実施	小中一貫校第7学年(中1)4クラス	キャリア教育「行政書士の職業紹介」「きまりの意味」
5	大田支部	令和3年2月実施	小学校5年生2クラス	みんなの身近にある法律と契約について考えよう！
6	渋谷支部	令和3年2月実施	小学校	働くってなんだろう？
7	中野支部	令和3年3月実施	中学校3年生	・キャリア教育 ・成年年齢の引き下げ、約束と法律
8	北支部	①令和2年12月実施	小学校4年生	自転車のきまり
		②令和3年2月実施	小学校6年生	合意形成
		③令和3年2月実施	小学校6年生	公園のきまり
		④令和3年3月実施	中学校3年生	消費者教育
9	荒川支部	令和3年1月実施	小学校6年生1クラス	買い物ときまり ①売買契約の基本 ②クレジットカード、プリペイドカードの仕組み
10	足立支部	令和2年10月実施	小学校6年生3クラス	SNS、プライバシー、名誉棄損
		令和2年12月実施	小学校6年生3クラス	SNS、プライバシー、名誉棄損
11	江戸川支部	令和2年9月～実施	小学4・5・6年生	社会のしくみ＜法律入門＞

【支部と委員会が連携して行った授業】

12	武蔵支部	令和2年10月実施	中学校1・2・3年生	セーフティ教室 身近な危険を「回避」しよう～インターネット社会の危険～
----	------	-----------	------------	-------------------------------------

【東京都教育庁の「法」に関する教育における授業】

東京都教育庁による「学校教育における『法』に関する教育の推進」事業(法律実務家との連携)

13	多摩中央支部	令和2年7月	中学校3年生5クラス	<p>○東京都教育委員会・小平市教育委員会の「法」に関する教育研究指定校における授業へ講師として協力。研究発表会にも参加。</p> <p>○小平市立小平第五中学校の「法的なものの見方・考え方の育成 ～法教育を中核としたカリキュラム・マネジメントを通して～」の研究の一環</p> <p>○中学校学習指導要領、家庭分野における消費生活・環境の「消費者の権利と責任」の単元での授業において、専門家としてコメントを行った。</p>
----	--------	--------	------------	---

目黒支部では平成 23 年～24 年にかけて、法教育に対して積極的に動いておりました。当時支部長だったのは他ならぬ私自身であったこともあり自画自賛と受け取られかねませんが、他支部に先駆けて小、中学校で法教育の出前授業を行っていた北支部の活動を、当時広報部を担当されていた庄司由美子会員、中山未来会員、民岡良会員が実際に見学させていただき、その内容は広報「さんまのつぶやき」第 22 号に特集として掲載いたしました。

一方、私自身も知人である某目黒区議さんに相談を持ち掛け、「実際に行くことになったら、是非自分に知らせて欲しい。親しい校長先生を紹介するから」と言われておりました

しかし、当時支部として行っていた最大の活動は「60

周年記念誌」の発行及び「60 周年記念 DVD」の作成であり、新年会で皆様にお披露目する為、関係者は全力疾走していた日々でした。60 周年関連の活動に力を取られたこと以外にも、当時は役員会で法教育に関して意見を求めても、ボランティア性の強い活動でもあることから左程興味を持っていただけず、支部活動として実現することはありませんでした。

どのような活動も実現させようとする強い意志を持つ者が支部にいないでは実現しません。今回、支部役員の中から法教育に高い関心を持たれる方が現れてくださいました。実現させるにはその方一人が孤軍奮闘されても無理でしょう。志を同じくする会員の協力を得て、是非とも実現されることを切に願っています。

「さんまのつぶやき」

によせて

監査 庄司 由美子

「昔の名前で出ています」と歌う流行歌ではありませんが、この度支部の広報誌が「さんまのつぶやき」に戻ったことはとてもうれしく思います。

思えば斎藤直樹支部長時代、私が広報担当者として、初めて「行

政目黒 NEWS」1号を出したのが、平成 12 年（2000 年）でした。その折、編集後記を「さんまのつぶやき」とネーミングしました。落語の「目黒のさんま」に由来した名前でしたが、意外とマッチングしていて気に入っていました。まさか TWITTER となって、IT 時代に世界を駆け巡るとは思いもよみませんでした。

それから私の支部長時代になり、広報担当の村中 巴会員から年に 1、2 回の広報を「ニュース」とするの

はどうかという意見があり、「さんまのつぶやき」を格上げして表紙を飾ったのが平成 21 年（2009 年）でした。今でもこのネーミングは特許庁に商標として、登録申請をしたくらい、価値のある名前だと自負しております。

これからも歴史ある名前の「さんまのつぶやき」広報誌を支部会員皆さまの協力を仰ぎながら、末永く継続して下さるよう名付け親としてはお願いしたいものです。



左から
行政目黒 NEWS、さんまのつぶやき、目黒さくらだより

政連目黒支部活動報告

10月31日(日)の投票日に向けて、政治連盟目黒支部は推薦候補者の選挙応援活動に積極的に参加しました。結果、自由民主党公認の若宮健嗣候補が比例にて復活当選されました。

また、本会の推薦候補者ではなかったものの、長年当支部とお付き合いが続いている手塚よしお候補は小選挙区で当選されました。



ようこそ目黒支部へ！ 新人紹介



香島 征希

香島征希(かしまさき)と申します。令和3年9月1日に行政書士登録をし、目黒本町で、MKリーガルという事務所を開設しました。

現在は、司法書士の資格も生かして、会社法務関係と相続をメインとした仕事をしています。

今後は、引き続き諸先輩のご指導を仰ぎながら、家族信託や事業承継といった生前対策のほか、外国人関連の業務や医療法人の認可業務にも対応してまいりたいと考えています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



名取 広泰

はじめまして。行政書士法人鴨宮パートナーズの名取広泰と申します。司法書士として7年登録しております。この度行政書士登録させていただきました。今までも相続や後見関係業務には携わっており、後見就任や相続時の遺産整理等一通りの経験はしておりますが、今後宅建免許や古物商許可等もやっていきたいと考えております。諸先輩方にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひいたします。

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



藤原 公和

2月28日付けで渋谷会から転入いたしました、藤原公和(ふじわらきみかず)と申します。

前職の会計事務所にて、ビザ業務を行いたいとの所長税理士の要望で行政書士資格を取得・登録し、併設した行政書士事務所にて、行政書士業務を行ってまいりました。この度、令和3年の司法書士試験に合格し、行政書士法人兼司法書士法人である鴨宮パートナーズへの入社に伴い、目黒会に転入いたしました。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

支部会員の異動

2022年3月1日現在の
目黒支部会員数は **128** 名です

登録 転入	名取 広泰	目黒区五本木 3-17-7	03-5720-1170	転入・12月(渋谷支部より)
	行政書士法人鴨宮パートナーズ	目黒区五本木 3-17-7	03-5720-1170	転入・12月(渋谷支部より)
	藤原 公和	目黒区五本木 3-17-7	03-5720-1170	転入・2月(渋谷支部より)
変更	劉 瑛		03-6303-3530	変更・10月
	廣野 青海	目黒区自由が丘 1-2-7-212		変更・12月
	浅見 雄介	目黒区柿の木坂 1-17-9-303		変更・12月
転出 廃業	廣岡 実			転出・9月(千代田支部へ)
	平野 育洋			転出・12月(世田谷支部へ)
	田井中 良子			廃業・12月



■ 広報春号は、毎年新年会が華やかにページを飾ってきましたが、この2年間はコロナ禍による自粛の為ほとんど行事らしい行事が行われておりません。文字ばかりで色気のない広報かもしれませんが、ご一読いただければと思います。(村中)

■ 年齢を重ねるに従い、当然責任や負担は増していきます。難しいことですが、目の前の出来事と真摯に向き合い、強い人間でいられるよう心がけています。(茂田)

■ 今中学生の長男の入園から10年が経ち、二女が卒園して親の私がやっと卒園します。これからあと6年、小学生の保護者として頑張ります。(木佐木)

■ 人様の痛み、苦しみ、悲しみを肌で感じ、全人格をかけて行動できる法律家を目指し、精進いたします。(伊藤)

■ 振り返ると、人と会う機会が増えた半年でした。オンラインとオフラインの良さを上手に使い分けながら、人と人の繋がりを深めていきたいと思います。(堀)

■ 今年に入り、世の中がさらに大きく変化しているように感じます。自分の軸をしっかり持ちながらも柔軟に対応できる、そんなバランス感覚のある人でありたいです。(竹松)



目黒支部の動き

2021.10～2022.3

- 10月5日 研修部会を開催
- 10月12日 防災会議を開催
- 11月1日 広報月間無料相談会を開催
- 11月4日 支部役員会を開催
- 11月8日 三支部合同研修会開催(目黒支部幹事)
- 11月10日 IT部会(リモート)を開催
- 11月30日 総務部会を開催
- 12月7日 研修部会を開催
- 12月8日 広報部会を開催
- 12月10日 支部役員会を開催
- 1月7日 会計部会を開催
- 1月11日 法規部会を開催
- 3月1日 総務部会を開催
- 3月17日 三支部合同研修会反省会・引継会開催
- 3月24日 支部役員会(リモート)を開催

行政書士無料相談

2021.4～2022.3

※無料相談は、毎月第一月曜日の13時～16時、目黒区総合庁舎で行われています。

今回から実際に実施された結果をご報告いたします

- 4月5日 野田 明人、倉富 敦子
- 6月7日 新型コロナのため中止
- 7月5日 木佐木 慶子、越智 秀也
- 8月2日 長谷川 直子、中川 拓己
- 9月6日 石澤 扶有子、三浦 泰史
- 10月4日 田島 久江、舘 素子
- 11月1日 中嶋 真弓、伊藤 究
- 12月6日 中島 貴史、川上 秀明
- 2月7日 増田 朝子、田島 久江
- 3月7日 下川 真規、福田 亮

政治連盟目黒支部の活動

2021.10～2022.3

- 10月19日 衆議院選 若宮健嗣 出陣式
衆議院選 松本文明 出陣式
- 10月20日 衆議院選 手塚よしお 街頭演説会
- 10月24日 衆議院選 若宮健嗣 街頭演説会
- 10月27日 同上
- 10月30日 同上
- 11月18日 政治連盟目黒支部役員会を開催

発行人 野田明人
発行所 〒153-0052
東京都目黒区祐天寺 2-8-6-203
Tel. 03-5725-6751
編集人 東京都行政書士会目黒支部
村中 巴 / 茂田陽子 / 木佐木慶子
伊藤 究 / 堀喜一郎 / 竹松千明



[https://
www.meguro-gyosei.com](https://www.meguro-gyosei.com)